

古事記編纂1300年を迎えて

出雲の魅力再発見・一人ひとりがおもてなし

出雲市では平成24年の古事記編纂1300年を記念して開催される「神話博しまね」や、平成25年の出雲大社「平成の大遷宮」を契機に、出雲の魅力を再発見し、訪れる方を「おもてなし」の心でお迎えする観光振興に取り組んでいます。このコーナーでは、地域で取り組むおもてなし・まちづくりを紹介します。

今月号では、佐田地域から出雲の魅力をお伝えします。

結成30周年を迎えた

さだ須佐太鼓



さだ須佐太鼓

7月21日に開幕した「神話博しまね」のしまねの魅力発信ステージで、7月31日に「さだ須佐太鼓」が公演し、迫力のある演奏で観客を魅了しました。

「さだ須佐太鼓」は、昭和57年、くびき国体の年に誕生し、今年、結成30周年を迎えました。

地域の祭りや各種イベントのほか、国内出張公演や海外公演をするなど、積極的に活動しています。今年も2月に30周年記念公演を行ったほか、8月11日の出雲神話まつりでも公演を行いました。

人気の演目は「目田鬼面太鼓」です。怪しくも、もの悲しい笛の音に、大太鼓、締め太鼓、中太鼓が次々と加わり、約20名が打ち鳴らす太鼓の音が地を震わせ、腹の底から響き渡ります。おどろおどろしく不気味な雰囲気の中、数名の鬼たちが観客席から登場し暴れまわります。舞台上上がった鬼たちが繰り返す饗宴と乱交振りを、巧みなパチさばきと壮大な舞で演じます。そこへ現れたスサノオノミコトとの壮絶な闘い、そして、その後の甦った村の平和をダイナミックに演じきります。

一人の演奏者が2つの太鼓を打ち鳴らす「二面打ち」も見どころのひとつとなっています。

現在、「さだ須佐太鼓」の中心となる叩き手となっているのは、地元若者30名と大社高校佐田分校太鼓部です。閉校されることになった佐田分校は、来春から生徒募集が停止されます。佐田分校太鼓部のメンバーは、「今年が全学年揃ったメンバーで演奏できる最後の年なので、伝統芸能の素晴らしさと歴史ある佐田分校のことが観客のみなさんの記憶に残る演奏にしたい」と意気込んでいます。

昨年8月に結成された

須佐語り部の会

須佐語り部の会は、毎年11月23日に開催される「スサノオウオーク」の際に須佐神社や須佐七不思議について紹介していたメンバーを中心に、昨年8月に7名で結成されたガイドの会です。

須佐のウォーキングコース「出雲国風土記・すさのおのみち」は、「美しい日本の歩きたくなるみち500選」にも選ばれているコースで、山・川・花などの自然や古



コースから望む須佐の美しい風景

墳・城跡など地域の魅力や歴史を感じることができ、起伏にとんだコースです。現在メンバーは10名に増え、本格的な活動に向けて研修をしたり、須佐神社、須佐の七不思議や地域の風土、歴史などを紹介するガイドブックとホームページの作成を進めたりしています。

会のメンバーは、「ガイドした方々の感想の中で印象的だったのは、『神様が近くに感じますね』、『空気がピュアですね』という言葉。今後も地域の魅力を発信し、たくさんの人に来ていただいて、ウォーキングの後には温泉に入って汗を流してほしい」と抱負を語ってくださいました。

須佐に漂うピュアな空気と、さだ須佐太鼓の勇壮な演舞。須佐の風土に育まれたこの静と動の2つの魅力を、みなさんぜひお楽しみください。

おたずね

さだ須佐太鼓／代表 飯塚 充

☎0019

須佐語り部の会／副会長 板垣正樹

☎00147

今後の

市町村デーの日程

- ◆ 10月 6日(土)、7日(日) 鳥取県(連携県デー)
- ◆ 10月13日(土)、14日(日) 川本町
- ◆ 10月20日(土)、21日(日) 雲南市・奥出雲町・飯南町
- ◆ 10月27日(土)、28日(日) 松江市
- ◆ 11月 3日(土)、4日(日) 出雲市



魅力発信ステージの様子



物販コーナーの様子

「神話博しまね」では、毎週土曜日と日曜日を「市町村デー」として、各市町村の郷土芸能上演や特産品等の販売を行っています。普段見る機会が少ない他市町村の郷土芸能を、この機会にご来場いただきご覧ください。

なお、出雲市が担当する市町村デーは、11月3日(土)、4日(日)です。市指定無形民俗文化財の出雲神楽や歌舞伎の上演がありますので、ぜひ、ご来場ください。お待ちしております。

『神話博しまね』市町村デー開催中!

出雲市デーの内容

- ★郷土芸能
 - 神西神代神楽保存会、荒茅盆踊り保存会
 - 赤塚神楽佐儀利保存会、乙立神楽保存会
 - 差海神事舞保存会、外園神楽保存会
 - 出雲歌舞伎むらくも座、窪田神楽社中
- ★仮設テント
 - 市内のいちじくや柿などの生産組合
 - 斐川町産地強化協議会
 - 出雲商業高等学校、出雲農林高等学校

古川誠写真展 「出雲の神々」



大正の和風建築で織りなされる神話の世界。「出雲の神々」が、そこにいる。

国の重要文化財「旧大社駅」で、出雲市出身の写真家 古川誠氏による写真展を開催。郷土を撮り続けてきたその眼には神々の地はどうか映ったのか。我が国を代表する木造和風建築を舞台に「出雲の神々」が降り立ちます。

【展示期間】10月1日(月)～11月11日(日)
【開館時間】9:00～18:00 (10月)
9:00～17:00 (11月)

【観覧料】無料
【ところ】旧大社駅

おたすね 神々の国しまね実行委員会
☎53-8835



～「神話博しまね」じっくり味わうサテライト講座～

平田会場 古代出雲の酒と宴

酒造りの神をまつる佐香神社(小境町)は日本酒発祥の地であると伝えられています。神代から人々を楽しませ、時には大きな力を与えてきた「酒」について考えます。

とき 10月13日(土) 13:30～16:15

ところ 平田文化館「プラタナスホール」
(平田町2112-1)

内容 講演「出雲の酒談義」

◆NPO法人出雲学研究所
理事長 藤岡大拙氏

パネルディスカッション
「古代出雲の酒と宴」



藤岡大拙氏

- ◆島根県神社庁参事・万九千神社 禰宜 錦田剛志氏
- ◆島根県立八雲立つ風土記の丘 所長 本間恵美子氏
- ◆旭日酒造有限公司 副社長 寺田榮里子氏
- ◆NPO法人出雲学研究所 理事長 藤岡大拙氏

入場料 無料 定員 400名／先着順
※事前の申し込みが必要です。定員になり次第締め切らせていただきます。

申し込み NPO 法人出雲学研究所 事務局
おたすね ☎ 0852-28-8010 FAX 0852-28-8011

神話博しまね関連イベント



古事記1300年記念新作能「出雲」

とき 11月8日(木) 18:00開演

ところ 出雲大社神楽殿

内容 三斎流の茶道点前、都倉俊一氏作詞・作曲の開演楽曲にはじまり、野村萬斎氏の狂言、今春流シテ 櫻間右陣氏の新作能「出雲」の公演など。

出演 さくらまうじんのむらまんざい
櫻間右陣、野村萬斎 ほか

入場料 S席 10,000円
A席 8,000円
B席 5,000円

プレイガイド 出雲市民会館
ビッグハート出雲
大社文化プレイスうらら館
ラビタ本店
島根県民会館チケットコーナー



おたすね かがり
出雲箆舞台実行委員会
☎ 03-3556-6176 または 080-5186-4407